

こんにちは、進路指導部です。新生活にも少しずつ慣れてきた頃でしょうか。「進路だより」では大学入試に関連する情報を発信していきますので、ぜひ読んでくださいね。

◎2015 年度入試を終えて ～「文低理高」が沈静化～

◆国公立大学 系統別志願状況

理系…すべての系統で減少（特にメディカル系の減少が目立つ）

→地理B、倫・政の平均点がダウン＆理科②で現役生に厳しい結果

→センター試験での目標点が下回り、出願に至らなかった受験生が多かった。

文系…法・国際関係など増加

→ここ数年の反動＆センター試験の平均点が大幅にアップ

◆私立大学（東京）系統別志願状況

理系…理学、薬学、保健衛生系統が大きく前年指数を下回る。その中、工学系統が増加している。

文系…文系学部は人気回復。その中、語学、教員養成系統は前年を下回った。

◎東洋大学 Web 体験授業 スタート

2015年3月27日より、東洋大学の特別授業をネットで見ることができるようになりました。現在は20分ほどの内容が10本配信されていますが、2016年3月には約100人の専任教員の特別授業が配信される予定です。学部・学科選びの参考に！

◎4年生 スタディーサポートの結果をもう一度確認！

高校での授業も本格的に始まりましたが、「自分に合った高校式の学習法」は見ついているでしょうか？ 秋までに高校生の学習スタイルを確立し、学習時間を増やしていくことができた生徒は、成績も伸びていきます。スタディーサポートの結果を見直し、学習状況を改善しながら、力を伸ばしていきましょう。

4年生の秋に成績がよかった人・よくなかった人の学習習慣

あなたは
どうする？

成績がよかった人

- ☐ 毎日机に向かい学習している
- ☐ 今後の平日の自宅学習時間の目標を2時間以上と考えている
- ☐ 授業では板書以外もノートにとる
- ☐ 読書の習慣が身についている
- ☐ 数学は宿題・授業の復習に必ず取り組み、応用問題も自力で解いている
- ☐ 英語の学習で辞書を活用している

成績がよくなかった人

- ☐ 自宅学習をやったりやらなかったりとムラがある
- ☐ 今後の平日の自宅学習時間の目標を1時間未満と考えている
- ☐ 授業では板書を写すことが中心
- ☐ 読書の習慣が身についていない
- ☐ 数学の宿題は完全にできておらず、問題演習への取り組みが消極的
- ☐ 英語の辞書を活用しきれていない

◎5年生 1年後を見据えて過ごそう

受験はまだまだ先のことと思っていませんか？ この1年間をどう過ごすかが受験結果に大きな差を生むのです。

難関大に合格した生徒の5年生での学習習慣 →→ 自分の「いま」を見直そう

学習時間	平日	休日
	合格者	合格者
30分以下	21.7	10.9
1時間	18.7	10.0
1時間30分	15.0	7.2
2時間	24.8	18.4
3時間以上	19.6	53.3

合格者の約4割が平日2時間以上
約5割が、休日3時間以上の学習
をしているようです。

学習習慣	国語 (古典)	数学	英語
	合格者	合格者	合格者
予習・宿題	42.8	10.9	37.0
宿題・復習	8.6	32.2	9.1
予習・宿題・復習	11.2	11.9	18.3
予習・宿題・復習と自主学習	3.1	12.0	9.9
宿題と試験前の学習のみ	17.8	20.9	13.1
試験前の学習のみ	7.8	3.4	3.3
予備校・塾・通信教育の学習中心	1.6	4.4	5.3
自宅では何もしていない	7.0	4.2	3.7

合格者の多くが、予習や復習、宿題など、毎日の授業を

進路希望	合格者
進路未定	0.8
進学希望だが、学部系統は未定	4.7

5年生春には、合格者に進路未定者
はほとんどいません。何らかの希望
進路を決定しているようです。

◆5月12日（火） 河合塾全統記述模試

すでにHRで連絡されていることと思いますが、今までの模試と異なり、志望校を記入することができます。5年生の今、当日になってあれこれ悩みながら記入するようでは困ります。また、1校だけ記入すれば良いというものでもありません。「模試を受ける意味」「志望校記入欄を埋める意味」をしっかりと考えて下さい。

◆校内模試と校外模試を両方活用

校内では、7月・11月・1月にベネッセ模試を実施します。5年生になった今年は校内模試だけでなく、校外模試も積極的に受験しにいきましょう。今回の河合塾全統模試をきっかけに継続的に河合塾の模試を受験すると、成績変化もわかりやすくなるのでオススメです。

◎6年生 受験スケジュールを確認して学習計画を立てよう

受験学年になり、1か月が経ちました。受験勉強は順調にスタートできていますか？これから受験までどのような流れになっているのかをそれぞれ確認した上で学習計画を立ててみましょう。

基礎力養成期 現在から6月 選抜要項発表・AO入試エントリー

自分の実力を客観的に見つめ、これまでの学習事項で理解が不十分な箇所を把握しましょう。弱点分野の克服を進めながら、履修中の学習範囲については、確実に理解していくようにしましょう。

基礎力完成期 7月～8月 (センター試験出願科目決定)

時間のある夏休みは、苦手克服にじっくり取り組む最後のチャンスです。教科書などで弱点分野を徹底的に復習し、基礎力を完成させましょう。

実践力養成期 9月～12月 センター試験出願・推薦入試

基礎力を土台に、この時期からは問題演習などの本格的な受験勉強を開始します。過去問題などに取り組むことで、これまでに得た知識を使って入試問題を解く力に高めていきます。

入試直前期 1月～3月 センター試験・一般入試

入試で確実に得点する力を養成する時期です。新しいことに手を出すよりも、それまでに得た知識を再度見直していくことが大切です。

◆目標を明確に

まだ受験勉強のペースがつかめず不安や焦りを感じている人も多いと思いますが、受験勉強に集中するためにも、目標を明確にすることが大切です。

受験勉強の進み具合(%)	成績◎	成績▲
順調に進んでおりこの調子で頑張りたい	21.4	5.0
ペースがつかめず不安や焦りを感じている	54.8	25.5
スタートが遅れてしまいかなり焦っている	20.3	33.6
受験勉強を始めるのはまだ先でよい	3.2	24.3
受験勉強はしない	0.2	11.1

志望校の決定状況(%)	成績◎	成績▲
決まっている	85.0	49.8
決まっていない	14.8	36.7
進学しない	0.1	12.9

◎ 6年春にG T ZがS 1～S 3の成績者の平均回答

▲ 6年春にG T ZがD 1～D 3の成績者の平均回答

◎オススメ参考書 「Z会 実力をつける日本史・世界史100題」

社会科(日本史・世界史)の先生方からの紹介です。
職員室質問コーナーに見本があるので、受験で日本史や世界史を使う人はぜひ一度見てみてください。



◎2016 年度入試の主な変更点

【千葉大】

- ◆全ての学部・学科の個別試験で「英語」が必要になる。

新規に英語が課される(教育学部小学校教員養成課程・中学校教員養成課程)

- ◆センター試験の配点が低くなり、個別試験の配点比率が高まる学科がある。

以下の学部・学科は2015年度より個別試験の配点が上昇する。

文学部 行動科学科／史学科

教育学部 中学校教員養成課程 全分野

看護学部 看護学科

工学部 全学科

園芸学部 全学科

- ◆園芸学部の変更点

個別試験の小論文が総合問題に変更

- ◆教育学部の変更点

①小学校教員養成課程の募集方法

②小学校教員養成課程・中学校教員養成課程の個別試験科目

③平成28年度入学選抜から、以下の学科で募集が停止となる。

中学校教員養成課程 総合教育分野／教育心理分野／情報教育分野

スポーツ科学課程

生涯教育課程

※ 上記の課程・分野の学生募集を停止することに伴う入学定員の移行等の扱いについては未定。

- ◆その他

①教育改革の一環として、平成28年4月から、ターム制を全学的に導入。

★タームとは？ ※ 詳細は千葉大HPを見て下さい。

・ 1タームを8週間(試験等を含む)とし、年間6ターム制とする。

・ 1ターム完結の科目設定を目指し、学部・研究科等の特性に合わせて、留学、インターンシップやボランティア等、学生の社会体験機会の確保や自主的で主体的な学びの促進を目指すもの。

②2017年度入試においては、教育学部を除く全ての学部で、「公民」の選択が「倫理・政治経済」のみになる。

【早稲田大】

- ・ 政治経済学部のAO方式総合選抜入学試験 → 「グローバル入学試験」に名称変更
- ・ 募集人員の変更
文化構想学部センター併用 70 名 → センター併用 35 名とセンターのみ 35 名
文学部センター併用 50 名 → センター併用 25 名とセンターのみ 25 名

【慶應大】

- ・ 募集人員の変更
経済学部 A 方式 480 名 B 方式 240 名 → A 方式 420 名 B 方式 210 名
- ・ 総合政策学部・環境情報学部（一般）は、新たに「情報」の選択が可能になる。

【東京理科大】

- ・ 経営学部は久喜キャンパス 240 名→神楽坂キャンパス 320 名に変わる
- ・ 経営学部にビジネスエコノミクス学科（160 名定員）が新設される
- ・ 工学部（経営工）は神楽坂キャンパスから葛飾キャンパスへ
- ・ 工学部経営工学科は「情報工学科」に学科改組
- ・ 工学部第二部募集停止予定

【明治大】

- ・ 全学部的一般入試（一般選抜入試・全学部統一入試・センター試験利用入試）全てにおいて WEB 出願のみに変更。特別入試、推薦入試では、WEB 出願は行わない。
- ・ 国際日本学部の入試科目「外国語」において、「ドイツ語」「フランス語」を利用科目から除外し、「英語」のみに変更。
- ・ 政治経済学部地域行政学科は、大学入試センター試験利用入試（後期日程）の学生募集を停止。なお、同学科において実施しているセンター試験利用入試（前期日程 7 科目方式）については、これまで通り募集。
- ・ 理工学部数学科は、AO 入試の学生募集を停止。

【立教大】

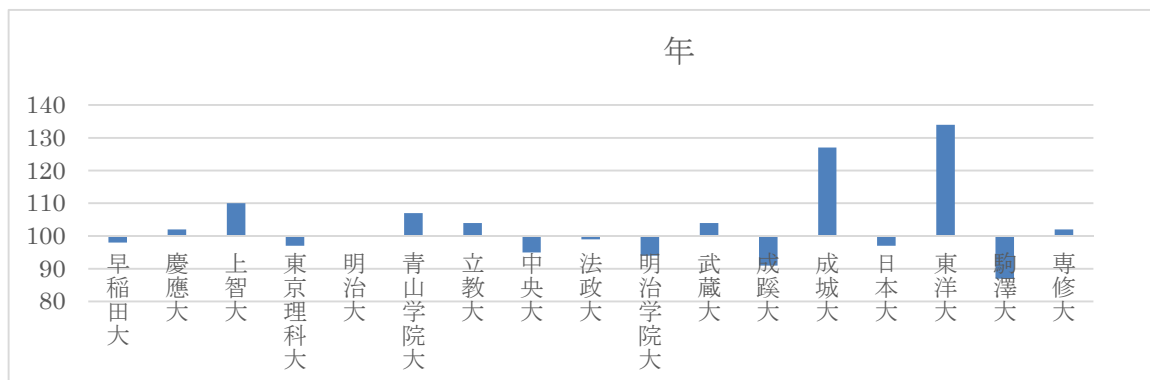
- ・ 全学部において英語資格、検定試験（4 技能）を活用した一般入試「グローバル方式」を実施。

【中央大】

- ・ 法学部はセンター試験利用入試単独型（前期）は、5 教科型に加え、新たに「3 教科型」を実施。

【法政大学】

- ・ 社会学部の全学科で、センター試験利用入学試験「C 方式」を新規実施。



早稲田大学	13学部中10学部で志願者数減少。ここ数年連続で微減。
慶應義塾大学	文・法を除く各学部で2～4日の入試日早期化。大学全体として、7年ぶりの志願者数増加。商・総合政策・看護医療と志願者数が増加。法・経済は私立大学全体では人気回復傾向が見られたが、慶應大はその様子が見られなかった。
東京理科大学	大学全体の志願者は前年並み。2016年度より久喜キャンパスから神楽坂キャンパスに全面移転される経営は対前年119と増加。
上智大	大学全体で4年連続志願者数増加。TEAP利用型入試導入にともない、複数学科への併願が可能になったことで、経済・文・総合人間という学部で志願者数増加につながった。創設2年目になる総合グローバルは志願倍率が13.7倍から9.6倍となり、競争が少し緩和された。
明治大	首都圏1位、全国2位の志願者数という結果になった。学科別募集から学部一括募集となった経営(一般)は対前年90と減少したが、経営(セ)は対前年169と大幅に増加。特に新たに導入された3科目方式で志願者が集まったことが経営(セ)の志願者数増加の要因となった。
青山学院大	駅伝優勝、国際系統の学部新設のため、MARCHの中で志願者数増加が目立った。新設される地球社会共生学部は相模原キャンパスに設置されるが、新設ながら志願者の集まりが顕著に見られた。
立教大	一般方式では法・コミュニティ福祉、センター方式では文・経済・現代心理を中心に志願者数が増加。特に経済は対前年155と増加が目立つ。
中央大	MARCHの中で対前年95と志願者数減少が目立つ。近年不人気だった法学系統だが、2015年度入試では全体的に回復傾向が見られた。しかし、中央大は一般センター方式の両方で志願者減少が目立った。
法政大	大学全体では前年並み。全学部方式(T日程)で前年同様の集まり。一般方式では社会・キャリア・生命科学、センター方式では経営を中心に増加が顕著に見られた。特に4年連続減少が続いた社会学部は対前年115と志願者が大幅に増加。
成蹊大	大学全体で志願者が減少。その中P方式(センター5科目+英語)において対前年122と志願者数は増加。
成城大	新たに導入されたS方式(全学部入試)で志願者が増加し、大学全体で対前年134と志願者が増加。
日本大	大学全体での志願者はやや前年を下回ったが2014年度より導入されたN方式第一期(全学部)を中心に引き続き受験者が集まり、9万人を越える安定した志願者推移。
東洋大	大学全体で大幅に志願者が増加。特にセンター試験方式では文・社会・経済・法と志願者数が対前年200を超えた大幅な増加に繋がった。
駒澤大	大学全体の志願者数は対前年87と減少。医療健康を除く全ての学部で志願者数が大幅に減少した。
専修大	大学全体で志願者数は対前年102とやや上回った。減少が見られる学部もある中でも、経済・商は増加。

